

- 日 時 令和5年5月25日(木)14:00~14:50
- 会 場 標茶町コンベンションホールういず
- 出席者 委員23名中22名出席
- 会議内容

## 1 開会

### <冒頭、会長からあいさつ>

- ・本協議会は地域にとって望ましい旅客運送サービスの姿を明らかにする地域公共交通計画策定に向けた議論を行う場として昨年8月に設立され、書面開催を含め3回、協議会を開催した。
- ・新型コロナウイルスの影響や地域の人口減などにより公共交通の利用者が減少し、運転手の不足など取り巻く環境は厳しさを増している。こうした中、持続可能な公共交通ネットワークの構築に向けて、改めて地域の現状や課題を見つめ直し、議論を重ねながら地域公共交通の維持・確保の方向性や具体的な取組を今回、地域公共交通計画の案として取りまとめを行った。
- ・先月、パブリックコメントを実施し、本日はその結果も踏まえ議論を行い、計画を成案にしたいと考えている。釧路・根室地域の公共交通の維持・確保に向けて皆様からの忌憚のないご意見をいただきたい。

## 2 議事

### (1)北海道釧路・根室地域公共交通活性化協議会規約の改正について

#### 【資料1】

事務局から資料により説明。

#### 【主な質問・意見等】

##### ◆別海町

- ・資料の記載が逆となっている。改訂前は防災交通課、改訂後は総合政策課が正しい。

#### 【事務局】

- ・ご指摘の通り訂正する。

→訂正した内容にて異議なく承認。

### (2)北海道釧路・根室地域公共交通計画(原案)に対する意見募集(パブリックコメント)について

### (3)北海道釧路・根室地域公共交通計画(案)について

#### 【資料2】【資料3-1】【資料3-2】

事務局から資料により説明。

→異議なく承認。

計画案を北海道釧路・根室地域公共交通計画として決定した。

### (4)令和5年度事業計画(案)について

#### 【資料4】

事務局から資料により説明。

→異議なく承認。

### 3 その他

#### <各市町村・交通事業者の取組等の情報共有>

- ◆釧路市
  - ・7月頃にお子様がバスに触れてもらうイベントを計画している。
- ◆根室市
  - ・交通計画のパブリックコメントを実施し、5月末に協議会を開催する。地域から市内の高校への利用に結びつくバス運行の取組を交通事業者の協力のもと行っている。
- ◆北海道警察
  - ・道交法の改正により、バス停にバス以外の車が駐車できる制度がある。法的な手続きがあり公的な効力を持たせるのに時間がかかるので、計画があれば早めに相談してほしい。
- ◆中標津町
  - ・資料4に記載のある効率のよい会議の運営についてどのように考えているのかお聞きしたい。また、施策として記載されているサイクルトレインモニターツアーについて伺いたい。
- ◆事務局
  - ・釧路と根室それぞれに設置している地域生活交通確保対策協議会にて国庫補助の計画を立て、道路運送上の手続きを行っているが、活性化協議会を昨年立ち上げ、新しい計画を作った。今後はこの新しい計画に基づき国庫補助を受けていくという形になるが、現状は構成員、目的も異なっている釧路、根室の地域協議会と活性化協議会をひとつの協議会にしてしまうことを考えている。
  - ・サイクルトレインモニターツアーについては、自転車を折りたたまずに列車に持ち込む取組の実証を昨年10月に行った。本年度もモニターツアーを実施したいと考えている。
- ◆阿寒バス
  - ・労働環境問題に対応するため、運行管理システムを入れなければいけないと考えている。広域路線バスの見直しなど、路線の効率化を考えていきたい。
- ◆根室交通
  - ・バスの乗り方動画の撮影が終了している。合わせて、路線、停留所などについての動画も同時に作成しており、自社ホームページで公開予定。

#### <全体の総括>

- ◆北海道運輸局釧路運輸支局
  - ・地域間幹線系統補助金については釧路、根室の地域生活交通確保協議会で議論してきたが、来年度からは地域間幹線系統についての議論の場や計画、申請が地域生活交通確保協議会からこの活性化再生法に基づくこの協議会に移ってくるので協議会を一本化しては、というのが先ほどの事務局からの説明。メンバーがそろっていれば一本化してしまっても問題はないと考える
  - ・道路交通法改正の話については、路線定期バスは必ず停留所がなければならないと法律で決まっているが、停留所に自家用車などの他の車は駐車できない。それを手続きを踏んでいただければ例外的に違反にならないことが改正で認められたという説明となる。
  - ・国土交通省では、バス事業者やタクシー事業者がなくなっていく地域について、ラストワンマイルモビリティといった効率化や、既存の制度だけでは対応できないタクシー事業者の要件緩和などが検討されている。
  - ・紙のバスマップや時刻表は時代と逆行するのかもしれないが、意外に便利と考える。高齢者にとってはそのようなものも大切と改めて考えた。実際にバスに乗車して思ったのは、くしろバス、阿寒バスで導入しているWAONは非常に便利。小銭も気にしなくてよいのと、どこからどこまで乗ったらいくらなのかも意識しなくてよい。乗って初めて気付くこともあると思う。

### 4 閉会

- ・会長から謝辞を述べ、閉会。